

# 箱根組ニュース

第284号 2016年 7月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！  
各自保険に入って山に登りましょう！

## 梅雨の合間、名栗湖・白谷沢での野草天ぷらパーティーに15名が参加！

6月19日（日）、西武池袋駅7時35分発の急行飯能行きに乗車。朝のうちは青空も見えるまずまずの天候。

飯能駅に8時24分着。降り立ったのは井出、初参加の高松、太田、星野（幸）、坂巻、神山、川名、和田、奥村、浮田、及川、星野親子、神吉、戸丸の15名

8時55分発の名郷行バスに乗車。早めにバス停に行って並んだので全員無事座れた。バスは若い客でいっぱいだ。さわらびの湯バス停に9時36分着。横の芝生で自己紹介と体操をして、10時5分歩きだす。バス停から左方向に車道の緩い斜面をじわじわと上ってゆく。道端では早速野草を発見する。ヨモギ、アザミ、葛の芽、ドクダミ、三つ葉、山椒の葉、桑の葉等、少ないと思っていたらかなりの種類が生えている。

道は大きく右にカーブし左側に名栗湖・有馬ダムので堰堤が見えてくる。ロックヒルダムというらしいが岩を積み上げてているような形のダムだ。堰堤は車道になっていて車やバイクや人が通行し

ている。堰堤手前で葛の芽をたくさん収穫できた。

10時35分、堰堤の上で記念撮影。このころには曇り空になっていたが、暑くなくてちょうどよかったかもしれない。

10時45分、堰堤を西に向かって歩き出す。大きなバイクが止まっていた。真つ白なハーレーのツーリングタイプだ。重量は400キロを超えるという。1600cc、8年経つようだがまだまだピカピカの新車だ。持ち主に話しかけると嬉しそうに答えてくれた。

さて、堰堤を越えて右に湖沿いにジグザグに進んでゆく。アジサイの仲間か白い花が咲いている。吾亦紅の花のような形の黒い実をたくさんつけている木があった。調べてみたらヤシヤブシのようだハンノキの仲間で実は染料として、昔のお歯黒などにも使われたらしい。

11時5分、白谷橋を渡ったら左側に白谷沢へ入る棒の折山（棒の峰）登山口の入口に到着。白谷の泉と書いてあり昔



はこんこんと水が湧いていたが今は涸れてしまっている。

登山道に入り少し行ったら左側に沢に向かつて降りてゆく。道は少しわかりにくい。5分ほどで小さな堰堤を越え沢沿いの地点に到着。



11時25分、小さな沢の手前の少し広くなったところを。パーティー会場に決定。以前来た時よりも木々が成長してすっかり森になっていた。しかしそれが幸いして時折降った小雨を防いでくれた。

8 2 円 切 手 数	現在の収支	
	繰越収入	34965 円 0 円
1 5 6 枚	支出	
	印刷費	1000 円
	コピー代	400 円
	現在高	33565 円

レジャーシートを敷いて設営。コンロを二つ並べて左側のフライパンでは野草のテンプラを揚げる。右の大鍋ではうどんと

蕎麦の準備。

天ぷらは、ヨモギ、葛の芽、アザミなどが揚げられて、うどんやそばに載せて食べる。最高味だ。他にドクダミやヤブガラシなども揚げられた。及川さんの持参した玉ねぎと桜エビは鍋いっぴいの大きなかき揚げにしていた。ただ揚げたが大変だったようだ。

皆さん持ち寄りの惣菜もシートの上に広げられて大パーティーだ。ビール、熱燗の日本酒、などもどんどん空いて小川沿いはとても盛り



集合 7月23日(土)  
JR中央線東京駅6:07発  
中央特快高尾行(前から3両目車内)  
途中駅発 神田6:09 御茶ノ水6:12  
四ツ谷6:17 新宿6:22(12番線) 中野6:26  
三鷹6:35 国分寺6:42 立川6:48 日野6:51  
豊田6:54 八王子6:58 西八王子7:01  
高尾7:05 着(乗換) 7:06発  
甲斐大和 8:01着(バス乗換上日川峠行)  
8:10発 上日川峠8:51着  
東京~甲斐大和往復3800円  
甲斐大和→上日川峠バス1000円  
※他にタクシー代がかかります。

7月23日(土)は大菩薩峠から小金沢連嶺です。

レギュラーコース 約5時間35分

大菩薩峠(1600m)から2000m級の尾根を南に向かつて歩きます。甲斐大和駅からバスで上日川峠まで、2014mの小金沢山経由で湯ノ沢峠まで。ここからはタクシードで甲斐大和駅に向かう予定。

●持ち物 屋食、飲料水、非常食、雨具、傘、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品(三角巾、包帯、痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他、山と高原地図登山装備表などを参考に。

●申し込みは7月21日(木)までに

●お申し込み・お問い合わせ  
Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸  
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/



上がった。  
うどん  
と蕎麦も  
終了し、  
てんぷら  
も皆十分  
というこ  
とで昼食  
は終了。  
食後、

以前沢鱈  
がいたの  
で探して  
みるこ  
と  
く小さな  
小さな一  
匹を神山  
さんが見  
つけた。  
まだいる  
ことにち  
よつとほ  
つとした。  
午後1  
時45分  
撤収。来  
た道を戻

る。同じ道でも帰りはとても近く感じる。  
1時55分、あつという間に名栗湖の  
見える登山口に出る。右に白谷橋を渡り、  
湖沿いに進む。白谷橋の付近はマタタビ  
の木々がまだらに白い葉をなびかせて  
いる。

2時7分、堰堤に着く。堰堤の先でト  
イレ休憩。芝生に座って少しのんびりす  
る。堰堤からは下り坂の舗装路を降りて  
ゆく。

2時30分頃、さわらびの湯バス停に  
到着。ここで解散にする。浮田さんは  
少し先にバスで帰路に就いた。直ぐ来  
るバスに乗る人、お土産を買って帰る  
人、温泉に入って帰る人とに分かれた。  
川名、坂巻、戸丸の3名は久しぶり  
にさわらびの湯に入って帰ることに  
した。バス停から先の右の奥がさわら  
びの湯だ。意外に奥にあることにいま  
さらながら感じた。

受付を済ませて休憩所に荷物を置  
いて、更衣室に入るとすごい混雑だっ  
た。ようやくロッカーに近づいて、衣  
類を入れて浴室に行くところまたす  
ごい混雑だ。10か所ほどある洗い場  
に10人以上が順番待ちをしている。  
以前も何度か来たがこれほどなのは  
初めてだ。

洗い場はあきらめて、かけ湯で内湯

に入る。やはり温泉は気持ちがい<sup>3</sup>  
い。熱いミストサウナも入ってみる。露  
天風呂の空気があるのを見計らってこ  
れにも入ってみる。

風呂場から出て着替えるのがまた苦  
労だった。しかし、やはり風呂は気持ち  
が良かった。

湯上りは休憩室の畳の上で缶ビール  
をいただいでのんびりする。

さわらびの湯バス停からバスで飯能  
駅に戻る。

★夏の予定（どちらも募集開始です）

8月20日、21日(土日一泊)

伊東の海ツアー

9月16日(金)〜19日(月・祝)

北アルプス・白馬岳3泊4日

白馬岳日程。(3泊4日) 8名で予約済。

16日(金)

朝東京発、猿倉〜白馬尻小屋泊。

17日(土) (二日目山荘は個室確保)

大雪溪經由山頂、白馬山荘泊。

18日(日)

白馬三山の稜線〜白馬鑓温泉泊。

19日(月・祝)

猿倉から東京へ

※鉄道時刻等詳細はこれからです。

